

JR 神戸線芦屋駅構内での信号確認の原因と対策について

2023年4月6日（木）に神戸線 芦屋駅構内での信号確認により、列車の遅れを発生させた事象について、原因と対策をお知らせいたします。

ご利用のお客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2023年4月6日（木） 10時28分頃

2 発生場所

JR 神戸線（東海道本線） 芦屋駅 構内

3 概況

10時28分頃、大阪指令所の指令員は、モニター画面にて、下り外側線（主に特急・新快速電車が走行する線路）から芦屋駅に進入する線路の地上設備に異常が発生していることを検知しました。

11時19分に復旧作業が完了し、11時25分に通常速度で運転を再開しました。

4 列車影響

<運休> 計1本（上りのみ部分運休）

<遅れ> 下り新快速電車 [永原（8：54）発湖西線經由姫路（11：33）行] が42分遅れたのを最大に、計37本（上り7本、下り30本）に42分～7分の遅れ

影響人員：約8,600人

5 原因

ATSの電源部が長期間の使用により劣化が進行し、機能を維持できなくなったためです。

6 対策

ほかのATSの電源部の機器について、劣化度合いに応じた優先順位を定めて、順次取り替えていきます。